

令和4年度 第2回 海老名市総合教育会議 次第

日時：令和4年11月26日（土）午前10時～

場所：柏ヶ谷中学校 体育館

1 開会

2 あいさつ

3 第一部 協議事項

（1）教育大綱について

（2）部活動改革について

4 第二部

（1）学校発表 柏ヶ谷中学校生徒による学校紹介

（2）ユースミーティング

5 閉会

令和4年度 第2回

海老名市総合教育会議

令和4年11月26日(土)
柏ヶ谷中学校 体育館

第一部 協議事項

- ・ 教育大綱について
- ・ 部活動改革について

第二部

- ・ 学校発表 柏ヶ谷中学校
- ・ ユースミーティング

協議事項 1

教育大綱について

2

次期海老名市教育大綱について

- ▶ 1 第1回総合教育会議での意見
- ▶ 2 関係団体からの意見聴取
- ▶ 3 今後のスケジュール

3

海老名市教育大綱

「しあわせをはぐくむ教育」のまち海老名

わたしたちは
「ひびきあう教育」
の理念のもとに

- 子どもたちの
 - 家庭・学校・地域の
- しあわせ**をめざします

子どもたちの今と将来のしあわせのための教育

子どもと大人がともに成長する社会

家庭・学校・地域のためのよりよい環境づくり

に取り組みます

教育施策の3つの柱

「えびなっ子しあわせプラン」の推進

子どもと大人がともに学ぶ生涯学習の充実

新たな学校施設への取組と子育て環境の充実

家庭・学校・地域・行政の力を結集して

1 第1回総合教育会議での意見

- ・ 第三者の意見を聞く
- ・ それを踏まえ、第2回で意見をまとめる



【意見聴取先】

- ① 社会教育委員会議
- ② えびなっ子しあわせ懇談会

2 関係団体からの意見聴取

団体名	社会教育委員会議
実施日時	令和4年9月20日（火） 午前10時から
場所	えびなこどもセンター 201会議室
出席者	社会教育委員 10名 ・学校教育関係者 1名 ・社会教育関係者 5名 ・学識経験者 3名 ・家庭教育の向上に資する活動を行う者 1名

6

① 教職員の就業環境の改善が課題

② 文化財の更なる活用を！

③ 「子どもと大人が一緒に取り組む」ことが重要

④ 大きな活力と可能性を持つ高校生・大学生が
参画できる場・仕組み作りを求める

⑤ 大人と関わる中で、子どもが自信を深め、
「好き」を発見し、伸ばして行ってほしい

⑥ 広い世代の交流を図ることが大切

7

2 関係団体からの意見聴取

団体名	えびなっ子しあわせ懇談会
実施日時	令和4年10月24日（月） 午後3時30分から
場所	えびなこどもセンター 202会議室
出席者	えびなっ子しあわせ懇談会委員 5名 ・元市立中学校PTA会長 2名 ・元市立中学校長 1名 ・元市立小学校教頭 1名 ・学識経験者 1名

① 大人が視野を広げられる取組みが必要

② 「えびなっ子しあわせプランの推進」
は特に重点的に進めること



③ 子どもにはたくましく育てほしい
たくましさ＝生きる力の育成を重視

④ インクルーシブ教育の推進を求める

⑤ 主体的に集まってくれる若者や大人の力を
借りることで、学校は良くなる



3 今後のスケジュール

- 令和4年11月26日 **第2回総合教育会議**
- ・現教育大綱の評価
 - ・教育委員の意見聴取
- ～2月上旬 原案作成
- 令和5年2月25日 **第3回総合教育会議**
- ・原案提出
- ～3月下旬 パブリックコメントの実施
- 4月上旬 最終案作成
- 4月下旬 **第1回総合教育会議**
- ・新教育大綱の決定⇒公表

協議事項2

部活動改革について

海老名市立中学校 部活動の現状(令和4年6月)

部活動入部数

生徒数	3,359人
部員数	2,778人
入部率	83%



部活動数

	運動部	文化部	計
海老名中学校	8	3	11
有馬中学校	13	4	17
海西中学校	12	6	18
柏ヶ谷中学校	12	8	20
大谷中学校	11	6	17
今泉中学校	10	7	17

主な部活動

運動部	文化部
軟式野球	吹奏楽
サッカー	合唱
バスケットボール(男・女)	美術芸術系
バドミントン(男・女)	囲碁・将棋
軟式テニス(男・女)	技術工作
バレーボール(男・女)	自然科学
剣道	パソコン数研
陸上	イラスト漫画
ソフトボール	英語
卓球(男・女)	写真
ラグビー	放送
	アートクラフト
	家庭手芸 他 ¹²



海老名市が実施している部活動への取組

海老名市部活動方針(平成30年4月～)

海老名市中学校部活動のねらい

自己を高める



人とのつながり



生涯体育・芸術へ



海老名市が実施している部活動への取組

海老名市部活動方針 (平成30年4月～)

活動日数と活動時間

活動規程にそって顧問が月ごとの活動予定表を作成し、生徒・保護者に配付



外部指導者の活用

「部活動指導員」「部活動支援員」を配置して、部活動をサポート



医療との連携

ケガや故障の防止、パフォーマンスの向上を図るために、医師・トレーナー等が学校を訪問



14

学校の働き方改革を踏まえた部活動改革 (令和2年9月)

部活動の意義と課題



持続可能な部活動と教師の負担軽減の両方を実現できる改革が必要



改革の方向性

部活動改革の第一歩として、休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境 を構築

具体的な方策

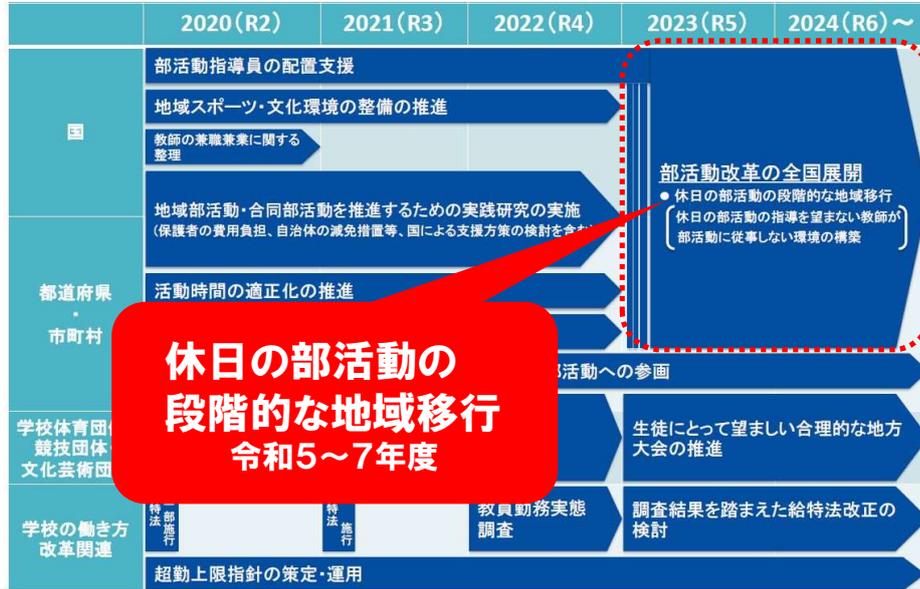
- I. **休日の部活動の段階的な地域移行**
- II. **合理的で効率的な部活動の推進**

令和5年度以降段階的に実施

15

学校の働き方改革を踏まえた部活動改革 (令和2年9月)

学校の働き方改革を踏まえた部活動改革のスケジュール

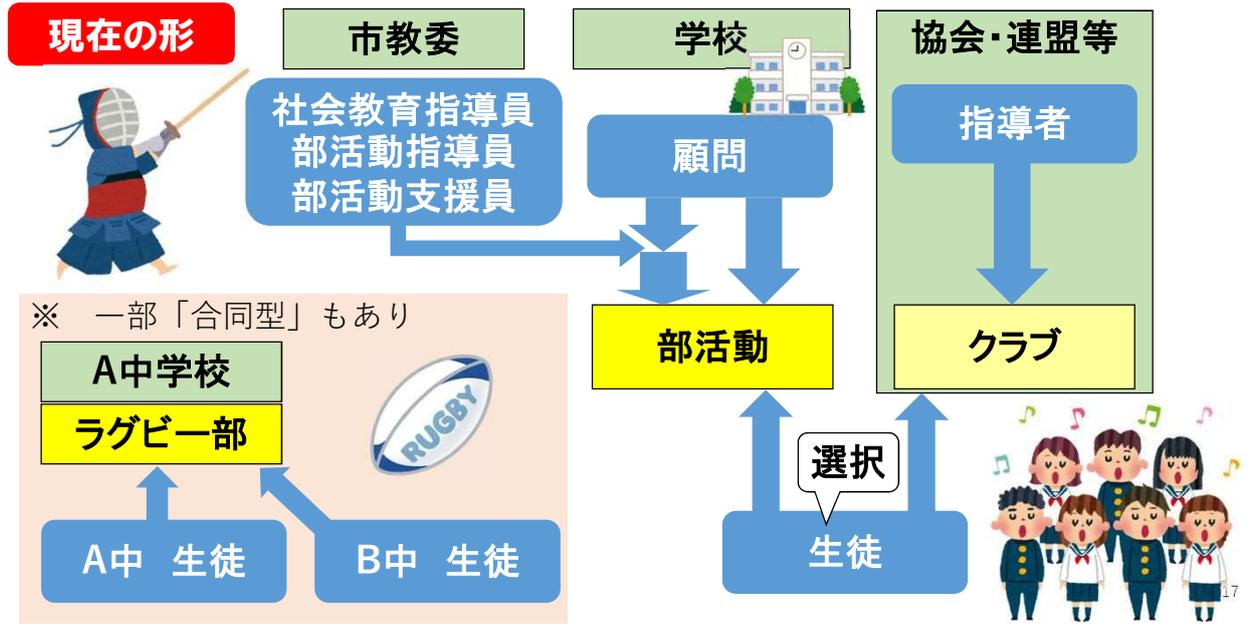


休日の部活動の段階的な地域移行 令和5~7年度

「部活動そのもののあり方(枠組み)」の見直しが必要になると考えています



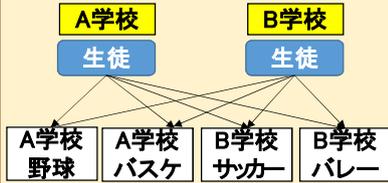
海老名市立中学校 部活動のあり方



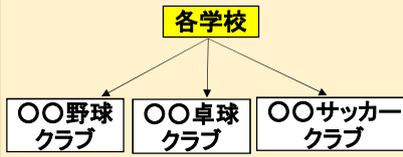
海老名市立中学校 部活動のあり方

考えられる多様な地域移行へのあり方

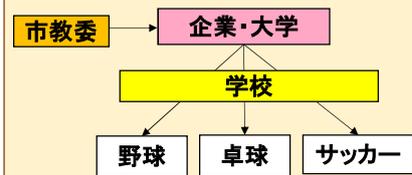
合同チーム型



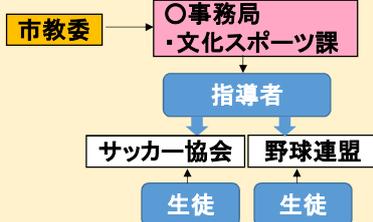
単一スポーツクラブ型



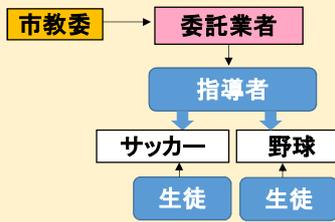
企業・大学連携型



行政主導型



業者主導型



その他、それぞれに長所、短所あり

生徒、保護者、地域、学校、行政等、様々な立場の人たちとの、十分な対話が必要だと考えています



「しあわせをはぐくむ教育」のまち海老名

わたしたちは「ひびきあう教育」の理念のもとに

- 子どもたちの
 - 家庭・学校・地域の
- しあわせ** をめざします

子どもたちの今と将来の
しあわせのための教育

子どもと大人が
ともに成長する社会

家庭・学校・地域のため
のよりよい環境づくり

教育施策の3つの柱

に取り組みます

「えびなっ子しあわせプラン」の推進

- 授業改善の実践
- 教育支援体制の充実
- 特色ある学校づくりの推進
- 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革

新たな学校施設への取組と子育て環境の充実

- 「持続可能」で「夢」のある学校施設整備
- 健康・安全安心のための環境整備
- 学校給食のあり方の検討
- 義務教育に係る公費負担のあり方の検討
- 放課後児童クラブ（学童保育）の充実

子どもと大人がともに学ぶ生涯学習の充実

- 子ども・学校支援事業の実践
- 子どもと大人がともに学ぶ社会教育計画の再構築
- 生涯学習講座の充実
- 「ひろがる・つながる・みんなの図書館」への進化
- 相模国分寺跡等、文化財の積極的な活用

家庭・学校・地域・行政の力を結集して